



2 エッセイ／“おかね”を語る
忘れてる ドイツ文学者・エッセイスト 池内 紀



4 インタビュー／扉を開く
「生命」 青山学院大学教授 福岡伸一

9 地域の底力——鹿児島県
地域の素材を活用し
新たな価値を生む鹿児島を訪ねて



16 対談／守・破・創
地球温暖化問題は百年の計として解決に取り組もう
財団法人地球環境産業技術研究機構副理事長 東京大学名誉教授 茅 陽一
日本銀行政策委員会審議委員 森本宜久

20 日本銀行の建物／その歴史と変遷について [1]
本店本館の誕生 日本銀行文書局技師 中村茂樹

24 シリーズ／統計に注目！[下]
お金に関する統計が待っている 日本銀行調査統計局企画役 清水雅之

28 日本銀行のレポートから
「地域経済報告」(さくらレポート) — 2011年1月 — 【地域からみた景気情勢】

32 トピックス

35 AIR MAIL from LONDON
財政再建を進める英国



表紙のことは

日本銀行函館支店は明治二十六年（一八九三）に函館出張所として開設。現存する支店としては大阪に次いで二番目に古い歴史を持つ。明治四十四年（一九一）に函館支店に昇格した。末広町にあった初代店舗は明治四十年（一九〇七）の函館大火により類焼。

今回表紙に掲載した店舗は、支店昇格の直後に建設された二代目の店舗である。設計は辰野金吾博士と高弟・長野宇平治によるもので、木造二階建てで石造風外観を持つ、本格的な洋風建築であった。しかしながら、竣工からわずか一三年後の大正十三年（一九二四）、大火により店舗は再び類焼した。

三代目店舗は、現在「函館市北方民族資料館」として利用されている。

四代目となる現在の店舗は昭和六十三年（一九八八）に東雲町に新築された。建物外壁には薄い小豆色の花崗岩を採用し、北海道開拓の地としてのエキゾチックな雰囲気や漂う函館の歴史の街並みとの調和を図り、函館の土地柄にふさわしい明るさと落ち着きを兼ね備えている。

